

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2020年7月31日から2030年7月26日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界新時代株式マザーファンド 世界の株式等
当ファンドの運用方法	■構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する世界の企業の株式に厳選して投資します。 ■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価を行い、銘柄を選定します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界新時代株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■原則として、各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

世界新時代株式ファンド (予想分配金提示型)

【愛称:World Change】

【運用報告書(全体版)】

第2作成期（2021年1月27日から2021年7月26日まで）

第 7 期 / 第 8 期 / 第 9 期
決算日2021年2月26日 決算日2021年3月26日 決算日2021年4月26日

第 10 期 / 第 11 期 / 第 12 期
決算日2021年5月26日 決算日2021年6月28日 決算日2021年7月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、世界の取引所に上場している株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

世界新時代株式ファンド（予想分配金提示型）【愛称：World Change】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設 定 日) 2020年7月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 321
1期(2020年8月26日)	10,375	30	4.1	92.1	2.8	398
2期(2020年9月28日)	10,048	0	△ 3.2	91.9	2.8	453
3期(2020年10月26日)	10,464	30	4.4	91.0	2.6	642
4期(2020年11月26日)	10,734	50	3.1	94.4	2.2	1,060
5期(2020年12月28日)	11,273	100	6.0	93.5	1.7	1,652
6期(2021年1月26日)	11,769	100	5.3	97.2	1.6	2,341
7期(2021年2月26日)	11,494	100	△ 1.5	98.7	—	3,066
8期(2021年3月26日)	10,857	50	△ 5.1	98.3	—	3,652
9期(2021年4月26日)	11,883	100	10.4	98.3	—	4,298
10期(2021年5月26日)	11,182	100	△ 5.1	97.1	—	4,363
11期(2021年6月28日)	12,047	200	9.5	100.6	—	5,064
12期(2021年7月26日)	12,110	100	1.4	98.1	—	5,353

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
			騰 落 率		
第7期	(期 首) 2021年1月26日	円 11,769	% -	% 97.2	% 1.6
	1月末	11,469	△ 2.5	95.6	1.6
	(期 末) 2021年2月26日	11,594	△ 1.5	98.7	-
第8期	(期 首) 2021年2月26日	11,494	-	98.7	-
	(期 末) 2021年3月26日	10,907	△ 5.1	98.3	-
第9期	(期 首) 2021年3月26日	10,857	-	98.3	-
	3月末	11,019	1.5	97.8	-
	(期 末) 2021年4月26日	11,983	10.4	98.3	-
第10期	(期 首) 2021年4月26日	11,883	-	98.3	-
	4月末	11,988	0.9	97.0	-
	(期 末) 2021年5月26日	11,282	△ 5.1	97.1	-
第11期	(期 首) 2021年5月26日	11,182	-	97.1	-
	5月末	11,359	1.6	96.2	-
	(期 末) 2021年6月28日	12,247	9.5	100.6	-
第12期	(期 首) 2021年6月28日	12,047	-	100.6	-
	6月末	12,155	0.9	99.0	-
	(期 末) 2021年7月26日	12,210	1.4	98.1	-

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

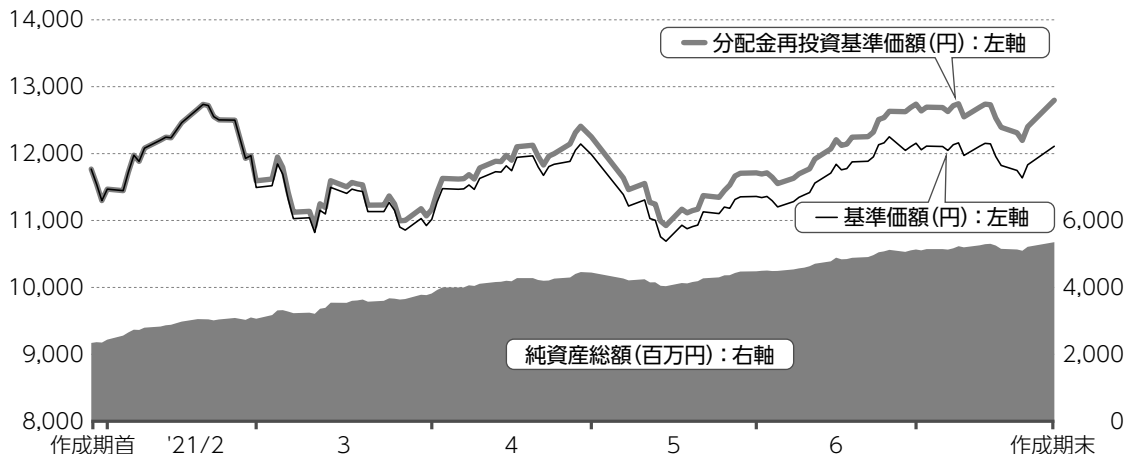
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	11,769円
作成期末	12,760円 (当作成期分配金650円(税引前)込み)
騰落率	+8.7% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

当ファンドでは、マザーファンドへの投資を通じて、構造的な変化とそれによって生じた新常态(ニューノーマル)の世界に着目します。ニューノーマルへの変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行います。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 3月下旬から4月下旬まで、雇用統計などの堅調な経済指標や、決算発表で堅調な企業業績が確認されたこと
- 5月中旬から作成期末にかけて、長期金利が低下基調になったことなどから株式市場が上昇したこと
- 為替市場が米ドル高・円安で推移したこと

下落要因

- 2月中旬から3月下旬にかけて、米国の金利上昇などにより高成長株が軟調に推移したこと
- 5月上旬から5月中旬にかけて、インフレへの警戒感がくすぶったこと

投資環境について（2021年1月27日から2021年7月26日まで）

当作成期の世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、対円で米ドルは上昇しました。

株式市場

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）による景気の急減速の後、大規模な政策サポートに加えて、ワクチン接種の進捗と経済回復を見据えて株式市場は上昇しました。

米国でバイデン大統領が就任し政策への期待が高まる中で、5月にはインフレへの警戒感が広がり調整する局面もあったものの、ワクチンの接種が拡大する中で、株式市場は作成期末まで上昇基調で推移しました。

デルタ株の拡大などにより感染症拡大前の生活とは異なる状況が続いていますが、各国でワクチンの接種率が上昇する中で経済正常化が進み、コロナと共生するライフスタイルが誕生しつつあります。また、働く場所の多様化やデジタル化が進む中で頻発するサイバー攻撃への対応など、企業戦略も大きく変化しています。環境保全を重視するバイデン政権が誕生したことも追い風となり、各国で人々の意識はサステナブル（持続可能性）志向が高まりました。株式市場もこうしたニューノーマルへの動きに呼応して、パンデミック以降を見据えた業績成長が期待できる企業、新技術や新商品を提供する企業、グリーン化

を進める企業などの株価上昇が目立ちました。

当作成期の市場の動きをMSCIオールカントリーインデックス（配当込み、米ドルベース）で見ると、9.8%上昇しました。

為替市場

米ドル・円は、米国でワクチン接種が進捗する中、経済活動正常化への期待が高まり、作成期を通じて、米ドル高・円安が進みました。

当作成期の米ドル・円は作成期首103円77銭から作成期末110円54銭へと6円77銭の米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

当ファンド

作成期を通じて「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れることにより、世界の株式市場への投資を行いました。

世界新時代株式マザーファンド

世界経済のニューノーマルへの変化として、「ライフスタイル」、「企業戦略」、「医療・健康」の分野のほか、世界的な環境意識の変化にも注目し、テーマとして「グリーンテック」を追加しました。

ライフスタイルでは、eコマース(電子商取引)やオンラインサービスの浸透に着目しました。企業戦略では、働く場所が多様化する中でセキュリティ環境の整備の動きが強まるとの見方から、セキュリティ関連銘柄に注目しました。医療・健康では、新型コロナウイルスといった新たな脅威へ対抗する持続的な取り組みとして、バイオ医薬品の開発や医療情報のデジタル化に注目しました。グリーンテックでは再生材料などに着目しました。

個別銘柄については、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界において競争を勝ち抜く企業を買いました。「ライフスタイル」では、旅行消費の回復期待からオンライン旅行サービスのブッキング・ホールディングスなどを買入れた一方で、規制懸念から中国の教育サービスの新東方教育科技を売却しました。「企業戦略」では、AIや自動運転を支える半導体に着目し、米国のインテグリスやシノプシスを買いました。「医療・健康」では、感染症の検査需要が鈍化することから、診断・検査機器を販売する米国のサーモフィッシャーサイエンティフィックを売却しました。「グリーンテック」では、再生材料を利用した複合材デッキを提供する米国のトレックスやEV(電気自動車)の拡大を見込んで日本電産を買いました。

なお直近の月末時点(2021年6月末)における純資産に占める投資テーマ別の構成比率は「ライフスタイル」が43%、「企業戦略」が29%、「医療・健康」が13%、「グリーンテック」が14%となっています。

ベンチマークとの差異について(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年1月27日から2021年7月26日まで）

当作成期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
当期分配金	100	50	100	100	200	100
（対基準価額比率）	(0.863%)	(0.458%)	(0.835%)	(0.886%)	(1.633%)	(0.819%)
当期の収益	-	-	100	-	200	100
当期の収益以外	100	50	-	100	-	-
翌期繰越分配対象額	1,494	1,344	1,883	1,540	2,046	2,109

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「世界新時代株式マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

世界新時代株式マザーファンド

新型コロナウイルス以降、私たちのライフスタイルは大きく変化してきています。これまでのビジネスモデルや生活様式から、新たな価値観を伴うニューノーマルへの動きが加速しています。

この大きな潮流の変化のなかで、新たな価値を創造できる企業の成長はまだ始まったばかりです。

これら企業は今後も株式市場のけん引役となると確信しています。中長期的な視点に基づき、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界で競争に勝ち抜くと判断した企業に集中投資を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細（2021年1月27日から2021年7月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	91円	0.785%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,580円です。
（投信会社）	(44)	(0.382)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(44)	(0.382)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.064	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(7)	(0.064)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	3	0.023	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(3)	(0.023)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.009)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	103	0.885	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

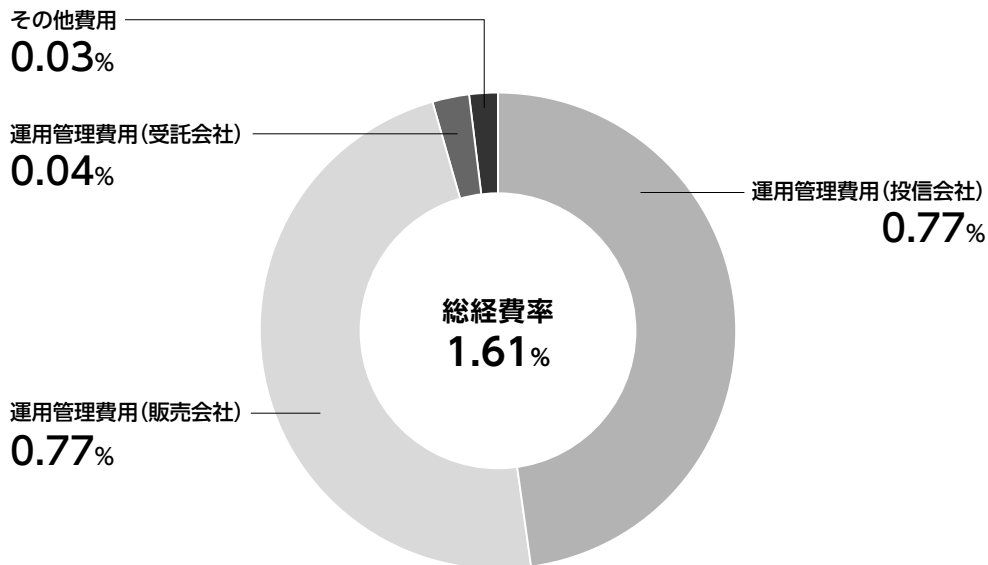
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.61%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 2,421,447	千円 2,965,957	千口 316,098	千円 396,403

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

項 目	当 作 成 期
	世界新時代株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	16,487,706千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	18,136,409千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

(1)利害関係人との取引状況

世界新時代株式ファンド（予想分配金提示型）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

世界新時代株式マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株 式	百万円 11,350	百万円 377	% 3.3	百万円 5,137	百万円 217	% 4.2

※平均保有割合 21.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

世界新時代株式ファンド（予想分配金提示型）

項 目	当 作 成 期
(a) 売 買 委 託 手 数 料 総 額	2,482千円
(b) う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額	112千円
(c) (b) / (a)	4.5%

※売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2021年1月27日から2021年7月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2021年7月26日現在)

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界新時代株式マザーファンド	千口 1,939,147	千口 4,044,495	千円 5,403,446

※世界新時代株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は16,378,353千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2021年7月26日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
世界新時代株式マザーファンド	千円 5,403,446	% 99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,609	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	5,413,055	100.0

※世界新時代株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産(20,387,589千円)の投資信託財産総額(21,995,438千円)に対する比率は92.7%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=110.54円、1ユーロ=130.04円、1英ポンド=151.93円、1スイスフラン=120.14円、1オーストラリアドル=81.26円、1香港ドル=14.23円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年2月26日) (2021年3月26日) (2021年4月26日) (2021年5月26日) (2021年6月28日) (2021年7月26日)

項目	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末
(A) 資産	3,103,418,885円	3,674,841,506円	4,403,148,810円	4,409,713,327円	5,226,100,160円	5,413,055,833円
コール・ローン等	6,660,903	1,619,039	25,084,640	1,798,709	71,410,925	9,609,222
世界新時代株式 マザーファンド(評価額)	3,096,757,982	3,673,222,467	4,340,159,870	4,407,914,618	5,154,689,235	5,403,446,611
未収入金	—	—	37,904,300	—	—	—
(B) 負債	37,088,604	22,540,212	104,575,690	46,290,039	162,098,767	59,895,303
未払収益分配金	26,676,527	16,819,329	36,174,031	39,021,766	84,072,665	44,205,807
未払解約金	6,600,973	1,543,728	62,880,792	1,635,689	71,170,363	9,263,829
未払信託報酬	3,795,002	4,144,089	5,464,770	5,553,629	6,748,484	6,292,373
未払利息	17	4	74	4	195	26
その他未払費用	16,085	33,062	56,023	78,951	107,060	133,268
(C) 純資産総額(A-B)	3,066,330,281	3,652,301,294	4,298,573,120	4,363,423,288	5,064,001,393	5,353,160,530
元本	2,667,652,720	3,363,865,956	3,617,403,127	3,902,176,645	4,203,633,262	4,420,580,772
次期繰越損益金	398,677,561	288,435,338	681,169,993	461,246,643	860,368,131	932,579,758
(D) 受益権総口数	2,667,652,720口	3,363,865,956口	3,617,403,127口	3,902,176,645口	4,203,633,262口	4,420,580,772口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,494円	10,857円	11,883円	11,182円	12,047円	12,110円

※当作成期における作成期首元本額1,989,769,862円、作成期中追加設定元本額3,028,041,534円、作成期中一部解約元本額597,230,624円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2021年1月27日）（自2021年2月27日）（自2021年3月27日）（自2021年4月27日）（自2021年5月27日）（自2021年6月29日）
 至2021年2月26日 至2021年3月26日 至2021年4月26日 至2021年5月26日 至2021年6月28日 至2021年7月26日

項 目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
(A) 配当等収益	△ 1,370円	△ 251円	△ 403円	△ 743円	△ 1,667円	△ 2,118円
支 払 利 息	△ 1,370	△ 251	△ 403	△ 743	△ 1,667	△ 2,118
(B) 有価証券売買損益	△ 62,066,486	△181,385,331	393,658,808	△213,337,549	432,106,002	79,320,264
売 買 益	1,562,182	523,183	401,036,438	4,173,732	442,483,927	80,335,179
売 買 損	△ 63,628,668	△181,908,514	△ 7,377,630	△217,511,281	△ 10,377,925	△ 1,014,915
(C) 信託報酬等	△ 3,811,087	△ 4,161,348	△ 5,487,734	△ 5,576,761	△ 6,776,593	△ 6,318,581
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 65,878,943	△185,546,930	388,170,671	△218,915,053	425,327,742	72,999,565
(E) 前期繰越損益金	173,065,588	79,903,776	△119,630,865	228,874,201	△ 28,070,142	301,110,429
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	318,167,443 (225,097,757)	410,897,821 (323,751,027)	448,804,218 (360,846,692)	490,309,261 (411,108,037)	547,183,196 (464,085,239)	602,675,571 (516,300,021)
(売買損益相当額)	(93,069,686)	(87,146,794)	(87,957,526)	(79,201,224)	(83,097,957)	(86,375,550)
(G) 計 (D + E + F)	425,354,088	305,254,667	717,344,024	500,268,409	944,440,796	976,785,565
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	△ 26,676,527 398,677,561	△ 16,819,329 288,435,338	△ 36,174,031 681,169,993	△ 39,021,766 461,246,643	△ 84,072,665 860,368,131	△ 44,205,807 932,579,758
追加信託差損益金 (配当等相当額)	318,167,443 (225,573,747)	410,897,821 (323,789,131)	448,804,218 (360,911,986)	490,309,261 (411,170,675)	547,183,196 (464,109,699)	602,675,571 (516,302,135)
(売買損益相当額)	(92,593,696)	(87,108,690)	(87,892,232)	(79,138,586)	(83,073,497)	(86,373,436)
分配準備積立金	146,389,061	128,467,238	232,365,775	189,852,435	313,184,935	329,904,187
繰越損益金	△ 65,878,943	△250,929,721	-	△218,915,053	-	-

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
(a) 費用控除後の配当等収益	－円	－円	1,399,246円	－円	397,112円	248,037円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	－	－	141,643,781	－	213,491,446	72,751,528
(c) 収益調整金	252,288,500	323,789,131	448,804,218	411,170,675	547,183,196	602,675,571
(d) 分配準備積立金	173,065,588	145,286,567	125,496,779	228,874,201	183,369,042	301,110,429
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	425,354,088	469,075,698	717,344,024	640,044,876	944,440,796	976,785,565
1万円当たり分配可能額	1,594	1,394	1,983	1,640	2,246	2,209
(f) 分配金額	26,676,527	16,819,329	36,174,031	39,021,766	84,072,665	44,205,807
1万円当たり分配金額(税引前)	100	50	100	100	200	100

■ 分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税引前)	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	100円	50円	100円	100円	200円	100円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

世界新時代株式マザーファンド

第1期（2020年7月31日から2021年7月26日まで）

信託期間	無期限（設定日：2020年7月31日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">■世界の取引所に上場している株式*の中から、主として構造的な変化により成長が見込まれる分野で、高い競争優位性を有する企業の株式に厳選して投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ※不動産投資信託（REIT）、DR（預託証券）等を含みます。■企業の成長見通しや株価の割安度等の分析・評価**を行い、銘柄を選定します。 ※※ESG評価に懸念のある銘柄は除外します。■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率			
(設定日) 2020年7月31日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 1,023
1期(2021年7月26日)	13,360	33.6	97.2	-	21,881

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
	円	騰 落 率		
(設 定 日) 2020年7月31日	10,000	—	—	—
7月末	9,995	△ 0.1	5.5	—
8月末	10,498	5.0	92.2	3.0
9月末	10,266	2.7	94.6	2.8
10月末	10,383	3.8	88.3	2.6
11月末	11,020	10.2	96.1	2.2
12月末	11,475	14.8	92.7	1.7
2021年1月末	11,882	18.8	95.6	1.6
2月末	12,027	20.3	97.7	—
3月末	11,599	16.0	97.7	—
4月末	12,742	27.4	97.0	—
5月末	12,198	22.0	96.2	—
6月末	13,285	32.9	99.0	—
(期 末) 2021年7月26日	13,360	33.6	97.2	—

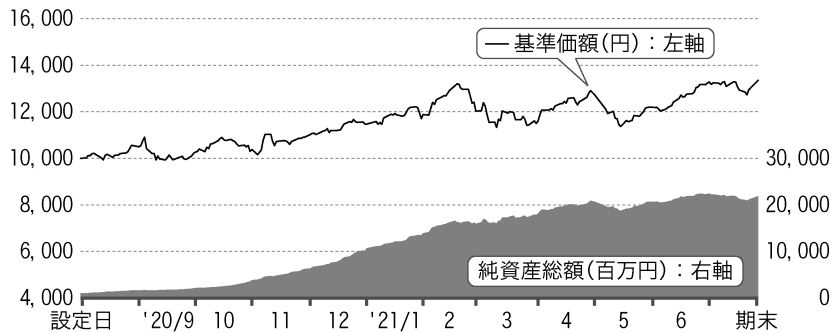
※騰落率は設定日比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年7月31日から2021年7月26日まで)

基準価額等の推移



設 定 日	10,000円
期 末	13,360円
騰 落 率	+33.6%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2020年7月31日から2021年7月26日まで)

当ファンドでは、構造的な変化とそれによって生じた新常态（ニューノーマル）の世界に着目します。ニューノーマルへの変化によって、成長が見込まれる投資テーマの中から、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、競争を勝ち抜く企業に集中投資を行います。外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行っていません。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月上旬から2021年2月中旬にかけて、米国の政権交代による政策期待などから株式市場が上昇したこと ・ 5月中旬から期末にかけて、長期金利が低下基調になったことなどから株式市場が上昇したこと ・ 期を通してみれば、米ドルが円に対して上昇したこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月中旬から3月下旬にかけて、米国の金利上昇などにより高成長株が軟調に推移したこと

▶ 投資環境について (2020年7月31日から2021年7月26日まで)

当期の世界の株式市場は上昇しました。為替市場では、対円で米ドルは上昇しました。

株式市場

各国政府が未曾有の危機に対して早期回復への確固たる意思表示と政策対応を行う中で、多くの経済指標や企業の四半期決算の発表を受け、4-6月期が景気の大底期であったとの認識が広まったことで、株式市場は9月上旬まで上昇しました。その後、10月末にかけては、利益確定の売りに押されて市場は停滞する局面もありましたが、11月に米国大統領選挙でバイデン候補勝利の見通しが高まり政局不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの実用化に向けての期待が高まったことから、株式市場は上昇基調を取り戻しました。その後、物価や金融政策の動向に神経質になる局面もありましたが、ワクチンの接種が進む中で経済再開の動きは進み、期末にかけて株式市場は堅調に推移しました。目に見えない新型コロナウイルスとの戦いが続く中で、世界はニューノーマルへと動き出しました。様々な分野において、デジタル技術を利用した企業活動や消費行動の変化がみられました。例えば、リモートワークの普及でインターネットを活用したテレビ会議や電子署名を採用する企業が増えました。地球温暖化防止など環境保全を重視するバイデン政権が誕生したことなどから、各国で人々の意識が環境志向へとシフトしました。株式市場もこうしたニューノーマルへの動きに呼応して、パンデミック（世界的大流行）以降を見据えた業績成長が期待できる企業や、新技術や新商品を提供する企業、グリーン化を進め

る企業の株価の上昇が目立ちました。当期の市場の動きをMSCIオールカントリーインデック
ス（配当込み、米ドルベース）で見ると、33.7%上昇しました。

為替市場

世界的に経済活動が混乱する状況下で、米国の金融政策において量的緩和策が強化されたこと
による低金利の長期化見通しなどから、12月下旬まで米ドルは下落基調で推移しました。その後、
米国でワクチン接種が進捗する中、経済活動正常化への期待が高まり、米ドル高・円安が進みま
した。

当期の米ドル・円は設定日104円60銭から期末110円54銭へと5円94銭の米ドル高・円安となり
ました。

▶ ポートフォリオについて(2020年7月31日から2021年7月26日まで)

世界経済のニューノーマルへの変化として、「ライフスタイル」、「企業戦略」、「医療・健康」の
分野のほか、世界的な環境意識の変化にも注目し、テーマとして「グリーンテック」を追加しま
した。米国でバイデン大統領が就任し、環境を重視する政策を示したことで、世界的な環境意識
の変化は今後加速していくとみられます。

ライフスタイルでは、eコマース（電子商取引）やオンラインサービスの浸透に着目しました。
企業戦略では、リモートワークの対応を受けたセキュリティ環境の整備の動きが強まるとの見方
から、セキュリティ関連銘柄の買入れを進めました。医療・健康では、新型コロナウイルスとい
った新たな脅威へ対抗する持続的な取り組みとして、バイオ医薬品の開発や医療情報のデジタル
化に注目しました。「グリーンテック」では再生材料などに着目しました。

個別銘柄については、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界
において競争を勝ち抜く企業を買入れました。ライフスタイルの変化では、パートナー探しの
オンライン事業で世界的に高いシェアを有する米国のマッチ・グループ、旅行消費の回復の恩恵
を受けるオンライン旅行サービスのブッキング・ホールディングスを買入れました。企業戦略
の変化では、クラウドベースのセキュリティに着目し、米国のクラウド・ストライク・ホールデ
ィングスなどを買入れました。医療・健康の変化では、バイオ医薬品市場の拡大に着目し、フ
ランスのザルトリウス・ステディム・バイオテック、医療のデジタル化に着目し、日本のエムス
リーなどを買入れました。「グリーンテック」では、再生材料を利用した複合材デッキを提供す
る米国のトレックスやEV（電気自動車）の拡大を見込んで日本電産を買入れました。なお直
近の月末時点（2021年6月末）における純資産に占める投資テーマ別の構成比率は「ライフス
タイル」が43%、「企業戦略」が29%、「医療・健康」が13%、「グリーンテック」が14%となってい
ます。

▶ ベンチマークとの差異について (2020年7月31日から2021年7月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

新型コロナウイルス以降、私たちのライフスタイルは大きく変化してきました。これまでのビジネスモデルや生活様式から、新たな価値観を伴うニューノーマルへの動きが加速しています。

この大きな潮流の変化のなかで、新たな価値を創造できる企業の成長はまだ始まったばかりです。これら企業は今後も株式市場のけん引役となると確信しています。当ファンドでは、中長期的な視点に基づき、独特の商品・サービスやビジネスモデルにより、ニューノーマルの世界で競争に勝ち抜くと判断した企業に集中投資を行います。

世界新時代株式マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細(2020年7月31日から2021年7月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	21円 (21) (0)	0.183% (0.183) (0.000)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	10 (10) (0)	0.085 (0.085) (0.000)	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.030 (0.030) (0.000)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	34	0.298	

期中の平均基準価額は11,447円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年7月31日から2021年7月26日まで)

(1) 株式

		買付		売付		
		株数	金額	株数	金額	
国内	上場	千株 151	千円 1,603,158	千株 58	千円 619,451	
	外国	アメリカ	百株 10,592 (3,090)	千米ドル 166,656 (-)	百株 5,009	千米ドル 42,220
ユーロ		ドイツ	1,087	千ユーロ 5,382	700	千ユーロ 2,127
		フランス	186	7,872	13	458
		スペイン	1,529	4,866	-	-
		イギリス	1,492	千英ポンド 5,441	1,122	千英ポンド 2,410
スイス		173	千スイスフラン 4,452	-	千スイスフラン -	
オーストラリア		354	千オーストラリアドル 4,140	-	千オーストラリアドル -	
香港	1,579	千香港ドル 54,771	719	千香港ドル 18,878		

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	アメリカ	EQUINIX INC	口 2,810	千米ドル 2,098	口 2,810	千米ドル 1,949
	小 計		2,810	2,098	2,810	1,949

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年7月31日から2021年7月26日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	30,215,115千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,985,301千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.75

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年7月31日から2021年7月26日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等	うち利害関係人	$\frac{B}{A}$	売付額等	うち利害関係人	$\frac{D}{C}$
	A	との取引状況B	A	C	との取引状況D	C
株 式	百万円 24,045	百万円 435	% 1.8	百万円 6,169	百万円 217	% 3.5

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	19,937千円
(b) うち利害関係人への支払額	534千円
(c) (b) / (a)	2.7%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年7月31日から2021年7月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年7月26日現在)

(1) 国内株式

銘柄	期末	
	株数	評価額
	千株	千円
電気機器 (53.7%)		
日本電産	38.1	479,298
サービス業 (46.3%)		
エムスリー	54.7	413,532
合計	92	892,830
	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	< 4.1% >

※銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 外国株式

銘柄	株数	期末評価額		業種等
		外貨建金額		
		千米ドル	千円	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	101	6,363	703,459	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	14	5,294	585,288	小売
BOOKING HOLDINGS INC	17	3,744	413,902	消費者サービス
CARVANA CO	68	2,329	257,491	小売
COSTAR GROUP INC	645	5,806	641,868	商業・専門サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	258	6,955	768,898	ソフトウェア・サービス
DOCUSIGN INC	140	4,329	478,581	ソフトウェア・サービス
ECOLAB INC	234	5,116	565,528	素材
ENTEGRIS INC	120	1,436	158,792	半導体・半導体製造装置
FACEBOOK INC-A	174	6,456	713,746	メディア・娯楽
GDS HOLDINGS LTD-ADR	218	1,414	156,354	ソフトウェア・サービス
IDEXX LABORATORIES INC	100	6,992	772,995	ヘルスケア機器・サービス
IQVIA HOLDINGS INC	126	3,159	349,287	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	148	4,965	548,856	家庭用品・パーソナル用品
MATCH GROUP INC	440	7,311	808,169	メディア・娯楽
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	223	3,106	343,413	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	214	4,202	464,557	半導体・半導体製造装置
OKTA INC	144	3,732	412,616	ソフトウェア・サービス
OPEN LENDING CORP-CL A	1,253	4,579	506,231	各種金融
PAYPAL HOLDINGS INC	204	6,297	696,115	ソフトウェア・サービス
PROGYNY INC	674	3,820	422,305	ヘルスケア機器・サービス
ROCKWELL AUTOMATION INC	106	3,175	351,068	資本財
SEA LTD-ADR	181	5,411	598,202	メディア・娯楽
SERVICENOW INC	125	7,336	810,926	ソフトウェア・サービス
STRYKER CORP	195	5,147	569,009	ヘルスケア機器・サービス
SYNOPSYS INC	173	4,958	548,081	ソフトウェア・サービス
TREX COMPANY INC	657	6,577	727,041	資本財
TRUPANION INC	149	1,713	189,411	保険
VISA INC	233	5,808	642,114	ソフトウェア・サービス
WARNER MUSIC GROUP CORP-CL A	822	3,101	342,847	メディア・娯楽
YETI HOLDINGS INC	319	3,112	344,049	耐久消費財・アパレル

世界新時代株式マザーファンド

銘柄	期末			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
ZSCALER INC	180	4,304	475,830	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,672 148,064	16,367,048 <74.8%>	
(ユーロ・・・ドイツ) HELLOFRESH AG	386	千ユーロ 3,258	423,768	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	386 3,258	423,768 <1.9%>	
(ユーロ・・・フランス) LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE SARTORIUS STEDIM BIOTECH	60 113	4,044 5,224	525,881 679,400	耐久消費財・アパレル 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	173 9,268	1,205,282 <5.5%>	
(ユーロ・・・スペイン) SIEMENS GAMESA RENEWABLE ENERGY	1,529	3,505	455,843	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,529 3,505	455,843 <2.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,089 16,032	2,084,894 <9.5%>	
(イギリス) ASTRAZENECA PLC	369	千英ポンド 3,132	475,883	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	369 3,132	475,883 <2.2%>	
(スイス) SIKA AG	173	千スイスフラン 5,542	665,933	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	173 5,542	665,933 <3.0%>	
(オーストラリア) AFTERPAY LTD	354	千オーストラリアドル 3,784	307,514	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	354 3,784	307,514 <1.4%>	
(香港) MEITUAN-B TENCENT HOLDINGS LIMITED	494 366	千香港ドル 13,496 19,434	192,049 276,554	小売 メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	860 32,930	468,603 <2.1%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,519 41	20,369,878 <93.1%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2021年7月26日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	21,262,708	96.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	732,730	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	21,995,438	100.0

※期末における外貨建資産(20,387,589千円)の投資信託財産総額(21,995,438千円)に対する比率は92.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=110.54円、1ユーロ=130.04円、1英ポンド=151.93円、1スイスフラン=120.14円、1オーストラリアドル=81.26円、1香港ドル=14.23円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年7月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	21,995,438,795円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	731,502,413
株 式 (評 価 額)	21,262,708,118
未 収 配 当 金	1,228,264
(B) 負 債	113,591,678
未 払 解 約 金	113,589,720
未 払 利 息	1,958
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	21,881,847,117
元 本	16,378,353,334
次 期 繰 越 損 益 金	5,503,493,783
(D) 受 益 権 総 口 数	16,378,353,334口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	13,360円

※当期における期首元本額1,023,526,483円、期中追加設定元本額17,447,640,350円、期中一部解約元本額2,092,813,499円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

世界新時代株式ファンド(資産成長型) 12,333,857,367円

世界新時代株式ファンド(予想分配金提示型) 4,044,495,967円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2020年7月31日 至2021年7月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	29,271,086円
受 取 配 当 金	29,646,131
支 払 利 息	△ 375,045
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,426,617,566
売 買 益	4,473,376,946
売 買 損	△ 1,046,759,380
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,298,817
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	3,452,589,835
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,619,722,156
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 568,818,208
(G) 計 (D + E + F)	5,503,493,783
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	5,503,493,783

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。